

障害者への介護の実際

発想の転換

グループピングケア研究会

遠藤 邦弘

発想の転換(チェンジング)

これまでのケア

これからのケア

生活を管理した

(日課・金銭・薬・排泄・入浴・食事
睡眠etc)

自己決定による個別ケア

集団処遇を優先

家族の意思
ヘルパーの業務

個別処遇による自己決定・自
己選択(本人の意思の尊重)

規則ある画一化されたケア

生活のリズム(日内リズム)

発想の転換（チェンジング）

これまでのケア

ケアの側が主人公

身体的ケア

機械的・合理的ケア手早い
サービス

これからのケア

人間の尊厳を基本にした

身体的・精神的ケアをバランス
よく

個人の満足のケア

発想の転換(チェンジング)

これまでのケア

行動が鈍いから、手を貸した方が早く上手にできる

このようにしたらケアが上手にできる

ケアするケア
何もできないから、かわいそうだからしてあげる

これからのケア

体験的接近による生活様式の再編成

(快のケア)どのようにしたら本人が満足するか

ケアされるケア
セルフケア(自立支援)

発想の転換（チェンジング）

これまでのケア

指示、指導するケア
支持的接近・教育的接近

職員の満足のケア
自発的行動を抑え、ケアの側の思いに

責めるケア
(プレイム)

これからのケア

ポイントケア
シグナルに対しての触発的助力のケア

内発的動機を達成動機に
自己決定により自発行動を起こす (SE理論)

褒めるケア
(ナイス)